

平成 30 年 3 月 8 日 母子と助産師の日 アンケート

主催:村松志保子助産師顕彰会、共催:愛媛助産師会
場所:徳丸老人の家、高忍日賣神社

○参加者人数

参加者数	69
アンケート回収数	40
アンケート回収率	58%

○参加者背景

10代	0
20代	11
30代	7
40代	8
50代	9
60代	5
70代	0
80代	0

○参加者内訳(重複回答あり)

妊婦	0
母	4
父	0
保健師	0
助産師	32
看護師	0
助産師学生	7
孫育て中じいじ	0
孫育て中ばあば	1
その他	0

1. イベントに参加したきっかけ

- ・友人、知人、恩師から聞いて、誘われて (7)
- ・愛媛県助産師会の案内 (7)
- ・学校教員からの紹介 (6)
- ・以前から参加していた、知っていた (4)
- ・愛媛県助産師会で参加 (3)
- ・今年のテーマは来たいと思っていた。(2)
- ・日程調整ができた (2)
- ・職場スタッフ (2)
- ・志保子顕彰会から (2)
- ・ネットで助産師の神社の存在を知り高忍日賣神社からイベントがあることを知った (2)
- ・学校の授業の一環
- ・高忍日賣神社に興味があった
- ・先日神社に参拝したときにイベントを知った。
- ・母子と助産師の日に全国から助産師さんが集まると聞き交流が出来ればと思ったから

2. シンポジウム『産婆・助産婦の歴史への接近』について

- ・ “産婆”の時代から助産師が社会的にどのような立場であったかと、地位を確立するためにどのような動きがあったか、今まで知らなかった歴史のことについて学ぶことができた。産院の歴史に関しても当時の産院の目的やその後の活動、対象の拡大といった変遷や「助産所」「助産施設」の捉え方の混乱についても初めて知ることができ、貴重な体験ができた。
- ・ 「産院」「助産施設」「助産所」のそれぞれの成り立ちと共に学ぶことができた。これは助産師や産婆にまつわる施設のこともまだまだ知らないことがあると思った。「助産師」という名前をしっかりとアピールできるように、そして脈々と受け継がれてきた助産師の歴史を助産師が学ぶことはとても大切だと改めて感じた。
- ・ 「産院」の消失した経緯に衝撃を受けた。中学時代の近所の喫茶店のマスターの母親が助産師で古い用具や資料があると話していたので譲りうけておいたらよかった。
- ・ 4名の先生方の話はとても興味深かった。過去に活躍した助産師のことを知れてよかった。ありがとうございました。
- ・ 各方面（学術的な）からの産婆、助産師についての捉え方を聞け有益だった。自分たちからの視点との相違を考えるきっかけとなった。
- ・ 聞いたことのある名前も沢山あったが、詳しく何をしていた人なのかわからなかったため、今回の話を聴き少し理解が深まった。昔の資料（その時には大したものでもなくても）が、今の時代にみるととても有意義な資料になると知り、今の私たちの資料の残し方も気を付けようと思った。大阪出身なので、大阪の産婆がすごかったというのを聞いて誇りに思った。
- ・ 疑問に思っていたことが少し整理された。もっと知って助産師専門の歴史を広めたい。
- ・ 興味深かった。
- ・ 現在「助産師」がここでの地域なるまでには今までのさんばの方々か立ち上がり、声を上げたことによるものであると考える。それらの事実と助産師としての誇りを持って仕事をしていきたい。
- ・ 今後助産師となる者として、以下の助産師の立場をどのように確立されたか、理解する必要があると分かった。現状に満足しないことが大切であると感じた。
- ・ さまざまな分野の先生方の視点から見た助産師の歴史を知れ、非常に興味深く聞かせてもらった。歴史の中で助産師の活躍や、運動、それに対する周囲の人間の反応など驚くこと（エピソード）も沢山あった。これらの明らかとなっていることは様々なジャンルの研究がなされてのことなのだと思う。
- ・ 産院という言葉に改めて感じ、考えた。
- ・ 産院の誕生や助産の歴史を知れた。この歴史を経てここまでの地位となったことを先生方から貴重な話を聴けよい経験となった。
- ・ 産婆の地位を確立するために先輩がご尽力された経緯が興味深かった。
- ・ 産婆の歴史についていろいろと知ることができた。
- ・ 産婆の歴史や昔の生活、活動を知ることで、専門職としての立場を確立してきたことが分かった。過去の産婆がおこなってきた助産ケアが今はあまり見ないのもあるが、医師との連携や会陰保護など助産技術を向上させてきたことなど、現在の助産に通じているものも沢山あるということが知れてとても勉強になった。
- ・ 社会学、文化人類学の立場からという話は興味深く昔の助産師の心郁を現代のあたしたちももっと持つべきだと感じた。
- ・ 助産師の身分が確立されたのは昔の産婆さんが尽力されたからということがよく分かり、ありがたいなあと思った。歴史を深く知れ、良い機会となった、医師と助産師の関係は昔も今もそれほど変

わらないんだと思った。うまくバランスをとって両者の領分、適材適所で役割を担ってあげればよかった。

- 助産師の歴史、今現在に至るまでの先輩助産師さんたちの努力と行動力に驚かされた。でもまだ助産師の存在感は一部だけであまり知られていないことには残念であった。年をとってもずっとその時期にあった変化のできる仕事だと思う。身体が元気で動けるうちはこの仕事を続けていければと思う。
- 助産師の歴史に関しては知らないことだらけだったので、自分たちの四角はこのようにして確立していかせてくださったのだと感動した。
- 助産師や助産施設などについて社会学、民俗学視点から研究者の話を聴いたことはとても貴重だった。また資料や記録の大切さについて改めて実感した。
- 助産所や助産施設の違いなど疑問に思っていたことを聞いてよかった。
- 知らないことが沢山あり勉強になった。
- 知らないはじめての世界だった。
- 知らなかったことばかりで勉強になった。歴史を振り返ることで今後の助産師の姿にも参考になるのではないかと思った。昔の助産婦さんから話を聞いておけばよかったと思う。歴史も裏の裏を診てみると面白いと感じた。
- 資料保管の大切さがよくわかった。
- 先人の助産師の活動があったからこそ、今の助産師につながっているということを知れた。かつて産婆は医師の補助とされていたが、今は専門職として活躍できており、これから助産師として働いている中で「助産師の役割とは」ということを考えながら誇りを持って妊産婦や他の対象者と関わっていきたいと考える。産婆、助産師の歴史を知っていくことは今の助産について比較することで歴史的なケアなどの良い部分を取り入れていけるなど、大切であると感じた。
- 戦前の大阪市に二大巨頭の名望産婆の条件として①自己研鑽②利他的③肝がすわっている、とあった。人のために、これからの未来に尽くしていくこと、団体のために働くという心構えや生き方に刺激を受けた。また学び未来に私自身がつなげていきたいと思った。
- テーマは難しそうだったが講師の先生の話がおもしろく興味が湧いた。
- とてもすごい先生たちばかりでとてもよかった。一度にこんなに多くの話を聴けるのがよかった。
- 初めて知ることが多く興味深かった。もともと産院の目的が貧困層の救済であることに驚いた。戦前の産婆たちがどのような活動をしていたのかを知れた。今回の話の全体から私が目指している助産師には大きな歴史や背景があり、すばらしい職業なんだと思った。
- 日頃臨床で働いていると、このような内容を知ることもなく大変勉強になった。
- 勉強になった。
- 勉強になり、新しい発見があった。
- 昔の助産師の意識の高さや歴史の上に現在の私たちがいる、私たちも頑張らないといけないと思う。
- 村松志保子さんから間宮うらさんまでいろいろなことがわかった。
- よかった。
- 歴史について普段考えることがなかったため、貴重な機会となった。現在の「助産師」という名、業を行うまでに、歴史上の方々が活動し声を上げてこられたことで現状があると感じた。
- 歴史を知り、時代の中で政策的に展開される中で、産院が消えたことにびっくりしている。時代の中で面で支える政策をどのように企画するか、政治、社会的に関心の弱い私には大切な話だった。

3. 助産師交流会について

- ・ 他県の方々と話せいろいろな方と情報交換できた、有効だった、楽しかった、刺激になった、楽しかった、勉強になった (8)
- ・ 楽しかった (2)
- ・ 他県から来ていたので驚いた。
- ・ 愛媛県外のいろいろな職種の方の話が聞けよかった。
- ・ 他県の方とも話ができてよかった。同じテーブルの方としか話ができなかったのも、他の方とも話したかった。
- ・ 和やかにでき、皆さんと顔見知りになれた。
- ・ ボランティアの方がいろいろなテーブルに分かれていて皆で話せるようにテーマを出したりすればもっといいものになると思う。
- ・ 盛り上がっていて、沢山のひとと話ができてよかった。
- ・ わきあいあいと交流できた。またシンポジストの先生方とも交流できてよかった。
- ・ わずかな時間であったが、とても楽しいひと時だった。
- ・ 他県の病院のことを知ることができてよかった。

4. 今後このイベントで取り上げたらよいテーマなど

- ・ 昔から引き継がれている知恵や技など (3)
- ・ 乳房管理等 (2)
- ・ あまり専門的になると来られる人に限りがあり、一般の方にも興味を持てるものなど
- ・ 今回のように助産師が元気になれるような原点に戻れるような話がよい
- ・ 神社で行うので、今回のような助産の歴史のテーマは続けてもらえると嬉しい。
- ・ 神社に関すること。
- ・ すぐ思いつかないが一般の方も参加しやすい今回のような内容が良いと思う。
- ・ 日本最高齢の助産師さんをお呼びしたい。
- ・ 助産所の見学
- ・ 日々勤務助産師としての苦労や悩みなどをディスカッションできる場、癒しの場があるとよい。
- ・ 病院施設の分娩と産院、自宅分娩について
- ・ 四国や愛媛での取り組み
- ・ 吉村先生の「玄びん」の上映
- ・ 子宮頸がん、ワクチンの効果と副作用
- ・ 骨盤ケア

5. 知りたいことや情報、メッセージなど

- ・ 来年も来たい (4) ・ 準備等に感謝(2) ・ 非常に勉強になった。
- ・ 伊賀先生の話で貴重な昔の資料が沢山残っていたというお話があったので、その資料を見せていただければと思った。
- ・ 今後も続けてほしい。
- ・ 職種の違う方から話を聞くことは違った目で見れるのでよかった。
- ・ 資料等歴史ある者は現物があればいいなと思う。
- ・ 楽しく過ごせた。